

平成29年度第2回資金管理委員会議事録要約

- ◆ 開催日時 平成30年3月15日（木）16時00分～17時00分
- ◆ 開催場所 兵庫県庁2号館
- ◆ 出席者（会長◎）
 - ◎ 甲斐 良隆 関西学院大学大学院経営戦略研究科教授
 - 佐竹 隆幸 関西学院大学大学院経営戦略研究科教授
 - 藤原 賢哉 神戸大学大学院経営学研究科教授
 - 浅野 正義 地方公共団体金融機構地方支援部副部長兼
ファイナンス支援課長
 - 中野 達夫 格付投資情報センター格付本部チーフアナリスト
 - 米田小百合 公認会計士

1 平成29年度資金運用実績・平成30年度資金運用計画について

- 満期到来により、過去の利率の高い債券が償還される中、グループファイナンスによる住宅供給公社債の購入といった工夫により一定の利回りを確保されている。来年度も、当該方針に基づいた運用に努められたい。

2 平成29年度県債発行実績・平成30年度県債発行方針について

- 10年債において、信用力の高い共同発行債よりも低水準での発行を実現するなど、有利な発行が行われていることは評価できる。
- 県政150周年を記念した住民参加型市場公募債の発行について、県民への周知を積極的に行うべき。また、購入特典については、全国型市場公募債より有利な水準での発行を検討されていることから、不要ではないか。
- IR資料の刷新にあたっては、兵庫県の魅力を的確にアピールするものとし、より効果的なIR活動が実施できるよう努められたい。

3 指針不適合商品に係る中長期的な管理計画の策定状況

- 公社等が保有する指針不適合商品について、中長期的な管理計画の策定を通じて適切な管理が図られるなど、客観性や透明性が高まっている。引き続き取組を継続されたい。